

## 令和6年度 施政方針と予算案のポイント

- 1 市制施行70年を契機とした市制100周年である30年後を見据えたまちづくり
- 2 学校教育環境の充実
- 3 市制施行 70 周年記念事業の展開
- 4 北部地域のまちづくりの展開
- 5 持続可能なまちづくりに向けた財源確保

# 6年度の施政方針

笑顔つづくミライに向けて

「笑顔つづくミライへ。」。市制施行70年を迎える川西市が、30年後の未来を見据えたまちづくりを行うためのメッセージです。

今から70年前に人口約3万3000人のまちとしてスタートした川西市は、昭和40年代から住宅都市として急成長を遂げ、最盛期には人口16万人のまちへと成長しました。

平成21年をピークに人口は減少していますが、豊かな自然と大阪へのアクセスの良さは住宅都市としての魅力を高め、平成30年〜令和4年には、0〜9歳の子どもと30歳代の子育て世代で転入者が転出者を上回っており、子育て世帯に選ばれる自治体の一つとなっています。

一方で、50年以上前にニュータウンを形成した住宅都市の宿命として、住民の高齢化による社会保障費の増加、公共施設などの老朽化による維持管理や更新などの財政負担の増加が見込まれます。

これまでのまちづくりは、右肩上がりの発展を前提としていました。これからは人口減少という厳しい現実を直視し、持続可能な社会をつくっていく

ことが、今を生きる私たちに課せられた未来への責任だと考えています。

令和6年度の予算編成と重点施策

第6次総合計画では、めざす都市像を「心地よさ息づくまち 川西」にしました。住宅都市としての高い価値を大切にしながら、子育てや教育、働く場所などの新たな価値をかせがわせ、市民の日常生活で感じる幸せ、心地よさを大切にしたいまちづくりを進めます。

【学校教育環境の充実】

令和5年に策定し、持続可能な行財政体質を構築するための新時代創造プランでは、新規・拡充事業実施のための一般財源の半分を子どもや教育施策に充当。総合計画の「まず、子どもの幸せから始める」という基本姿勢を念頭に予算を編成しました。

校内サポートルームの支援員の拡充や全市立中学校での放課後無料学習支援、市立小・中学校の体育館に空調を整備するための設計を行います。

【市制施行70周年記念事業の展開】

市制施行70年を単に祝うだけではなく、30年後を見据えて取り組みます。30年後の市民に歌い継がれる新しい歌を市民とともに制作。川西市出身でシンガーソングライター植村花菜さ

んによる記念コンサートを開催します。また、川西市出身で水中写真家の鍵井靖章さんによる「かわにしまるごと水族館」を実施します。

さらに、市内各地でアニバーサリーイベントを開催。また、官民協働で、アステ川西内の広場を新たなコミュニティパークへリニューアルします。

【北部地域のまちづくりの展開】

未来を見据え、北部地域のまちづくりを大きく前に進める1年にします。北部地域のまちづくり方針に基づいて、市立川西病院跡地への福祉複合施設誘致のための建物の解体、新たな北部地域の救急・災害拠点整備の準備を進めます。

【持続可能なまちづくりに向けた財源確保】

未来を見据えて事業を継続的に行うには、財源確保が重要です。健全な財政なくして、持続可能なまちづくりはありません。

今後も、新たな施策を行う財源を生み出すために、事業の効率化や見直し、新たな財源確保などに取り組んでいきます。

施政方針全文はこちら

施政方針の全文は市役所2階の市政情報コーナーか市ホームページへ。



笑顔つづくミライへ

令和6年度

# 施政方針と予算案

問い合わせ 財政課 ☎072(740)1130

第1回市議会(定例会)で、越田市長が6年度の市政運営の考え方などについて話しました。また、6年度予算案を議会に提出。ここでは、その概要を紹介します。





令和6年度は、第6次総合計画に基づき、「心地よさ 息づくまち 川西」を実現するために、「子どもの幸せ」につながる施策に力を入れて取り組みます。また、福祉・健康づくり施設の再編や整備も重点事項として実施します。



ここでは、それらの取り組みを紹介。詳しくは市ホームページへ。

# 人が豊かに育つ川西

## 民間保育施設整備の補助

待機児童ゼロを継続するとともに、入所保育児の減少を図るため、令和7年度開設予定の民間保育施設2カ所の整備費用を補助します。

5億3,791万円

## 留守家庭児童育成クラブの待機児童対策

留守家庭児童育成クラブの待機児童を解消するために、民間留守家庭児童育成クラブの誘致に取り組みます。

3,787万円

## 市立小・中学校体育館の空調を整備

教育活動の充実や、避難所機能の強化のために、市立小・中学校の体育館に空調設備を設置するために設計します。

3,080万円

## 市立中学校での自転車通学の試行実施

清和台中学校区(けやき坂地区)や東谷中学校区(北陵地区)で自転車通学を試験的に実施。また、路面表示の矢羽根を整備します。

2,398万円

## 川西さくら園相談支援の機能強化

児童発達支援センター川西さくら園に専門員を新たに2人配置。北部地域でも相談できる体制を整備するなど、相談支援機能の強化を図ります。

1,700万円

## 中学生の放課後学習支援

子どもたちがいつでも学び直せるよう、中学生を対象に、民間事業者が放課後の教室で学習支援を行います。

1,485万円

## 校内サポートルームの充実

多様な子どもたちの学べる場を確保するため、市立中学校の校内サポートルームの支援員の勤務時間を拡大します。

1,276万円

## 生涯学習アカデミー開講

生涯学習に取り組むきっかけになり、多世代がともに学べる場を公民館と一体的につくるため、「川西市生涯学習アカデミー」を開講します。

1,082万円

## 児童福祉母子保健の連携と産前ケアの強化

安心して出産・子育てができるよう、子育てコーディネーターによる相談支援体制を拡充するとともに、産前ヘルパー制度を開始。また、児童福祉と母子保健の連携強化のために統括支援員を配置します。

511万円

## 運動施設のあり方検討

総合体育館や市民温水プールなどの運動施設のあり方を検討します。

500万円

## 民間プールを活用した水泳授業の試行実施

子どもの学習環境の充実のために、清和台地区の2つの市立小学校と市立川西養護学校をモデル校として民間のプールを活用。専門の指導員が授業を行います。

398万円

## ヘアレントトレーニングの拡充

子どもの発達に気になる保護者の不安解消のために、就学児を持つ親向けのトレーニングを実施します。

100万円

## 市立学校のあり方検討

児童生徒の減少が進む中でも、質の高い教育を実現するために、今後の学校や学級の規模の検討を進めます。

48万円

## 快適な環境で暮らせる川西

### 市内道路の改良事業

市立東谷中学校への通学路でもある見野地内の都市計画道路見野線や市道12号、小戸地内の市道15号など、市内各所の道路の幅幅や歩道整備を行います。

5億3,768万円

### 街路樹の計画的な維持管理

道路空間の安全性を確保するために、街路樹の伐採など、適正な維持管理で緑の質向上をめざします。

2,997万円

## 変革の歩みを止めない川西

### (仮称)コミュニティセンター 川西会館の整備

旧川西幼稚園を活用し、川西小学校区にコミュニティセンターを整備します。

1,576万円

### 広報誌の多言語化対応

市の情報を伝えていくため、インターネットを活用し、広報誌の多言語化対応を行います。

50万円

## にぎわいが生まれる川西

## 安心安全を備えた川西

### 黒川里山センターの運営

里山保全や子どもの自然体験などの拠点として新棟の運営を開始します。

1,850万円

### 知明湖キャンプ場とせせらぎ広場の一体活用

知明湖キャンプ場と隣接する国崎せせらぎ広場を一体的なキャンプサイトとして活用。魅力の向上につなげます。

1,750万円

### ビジネスプラン発表会

社会起業家の事業立ち上げを支援するために、ビジネスプラン発表会などを実施します。

160万円

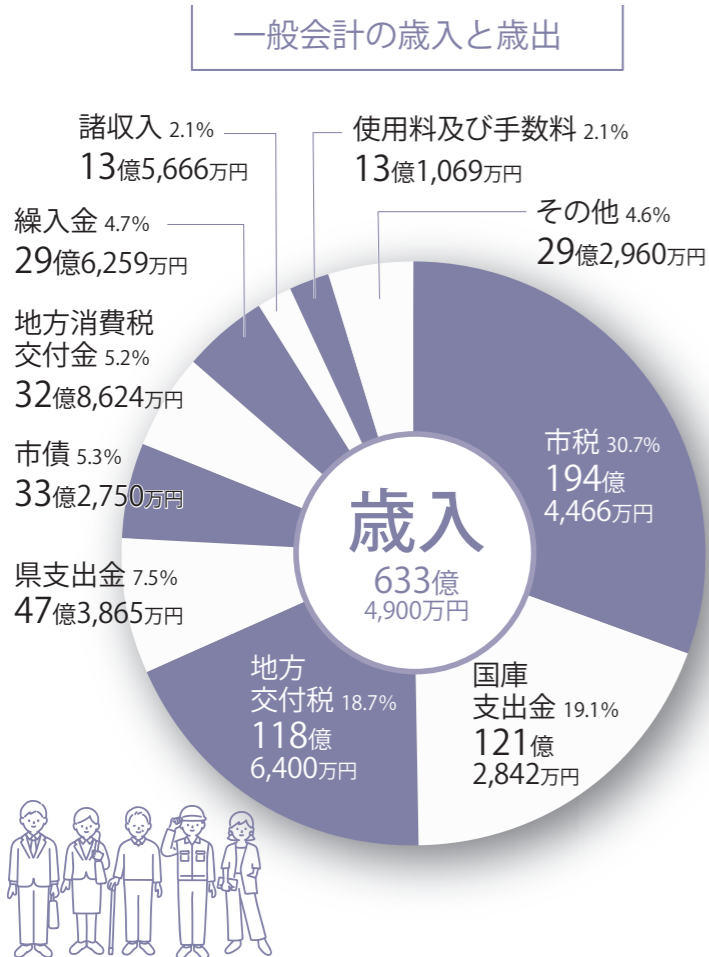
### 市制70周年関連事業

70周年記念コンサートやかわにしまるべつ水族館、70周年記念イベントを行います。詳しくは6ページへ。

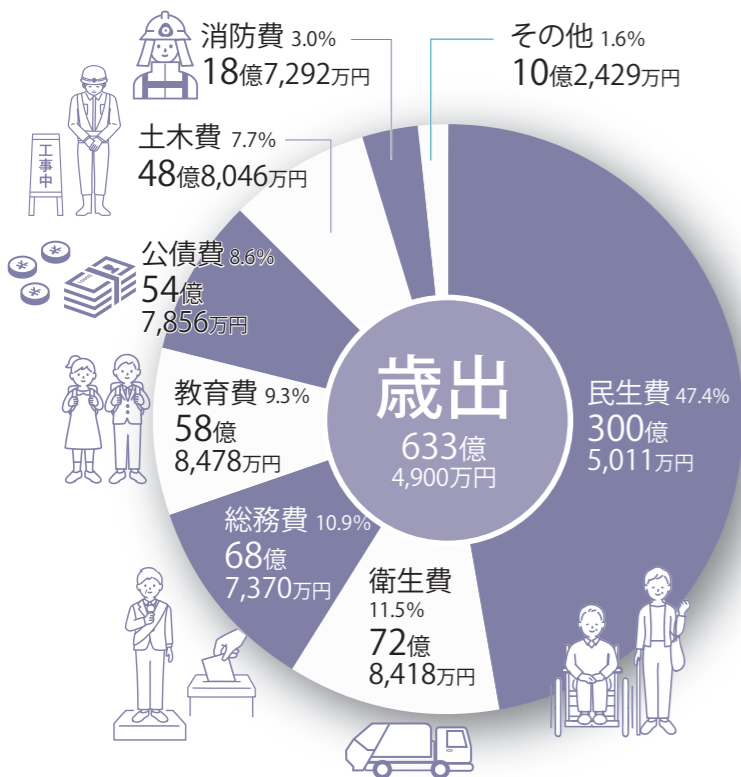
### 障がい者の雇用・就労支援拠点

755万円





行政サービスの基本的な経費と収入を計上した一般会計の予算は 633 億 4,900 万円



※表やグラフの数値は、端数の関係で合計が一致しない場合があります。

# 令和6年度 予算案

**行政** サービスの基本的な経費と収入を計上した一般会計の予算は、633億4900万円です。

**歳入** について、市税収入は、経済回復や地価上昇で全体的に増収となるものの、国の施策に基づく住民税の定額減税の影響が大きく、令和5年度と比べて減収。定額減税による減収相当額は地方特例交付金で補填されます。地方交付税

は、人件費と社会保障費の増額や旧市立川西病院の解体経費分の金額が上乘せされ、増加する見込みです。使途が決まっている特定財源では、物価高騰重点支援給付金支給事業の影響で、国庫支出金の増加が見込まれます。

**歳出** について、民生費は物価高騰重点支援給付金支給事業の開始などで増加。衛生費も同病院の解体で増加が見込まれます。

問い合わせ 財政課  
072(740)1130

■会計別予算案

| 会計名        | 6年度当初予算       | 5年度当初予算       |
|------------|---------------|---------------|
| 一般会計       | 633億4,900万円   | 568億5,100万円   |
| 特別会計       |               |               |
| 国民健康保険事業   | 138億4,171万円   | 144億9,330万円   |
| 後期高齢者医療事業  | 39億1,791万円    | 37億0,138万円    |
| 介護保険事業     | 163億3,903万円   | 151億6,996万円   |
| 用地先行取得事業   | 9億0,792万円     | 11億9,822万円    |
| 小計         | 350億0,657万円   | 345億6,286万円   |
| 一般・特別会計の合計 | 983億5,557万円   | 914億1,385万円   |
| 企業会計       |               |               |
| 水道         | 43億2,268万円    | 44億8,638万円    |
| 下水道        | 54億2,507万円    | 57億5,917万円    |
| 病院         | 40億2,391万円    | 30億6,680万円    |
| 小計         | 137億7,166万円   | 133億1,234万円   |
| 合計         | 1,121億2,723万円 | 1,047億2,619万円 |



## 市制70周年事業は 国の財源と寄付金で実施

問い合わせ 市制70周年記念事業事務局 ☎072(740)2034

「笑顔つづくミライへ。」をテーマに掲げ、「祝おう」「楽しもう」「繋げよう」「伝えよう」を柱に、市制70周年記念事業を実施します。国からの財源やふるさとづくり寄付金などを活用。ここでは、事業内容と事業費（1万円未満切り捨て）の一部を紹介します。詳しくは市ホームページへ。



|      |  |           |
|------|--|-----------|
| 祝おう  | <p>■70周年記念コンサート</p> <p>8月1日の市制記念日に、市出身のシンガーソングライター植村花菜さんを迎え、コンサートを開催。ライブイベントでは、植村さん制作の市オリジナル曲を初披露します。</p>  | 806万円     |
| 楽しもう | <p>■70周年記念イベント</p> <p>アステ川西にコミュニティパークを整備し、8月1日のオープニングに合わせ、イベントを実施します。また、8月～10月にかけて市内各所でイベントを開催します。</p> <p>■市制施行ゆかりの地 祝賀事業</p> <p>1町2村の合併により生まれた川西市。そのゆかりの地である多田地区と東谷地区で地域主導のイベントを実施します。</p> <p>■かわにしまるごと水族館</p> <p>市民文化賞を受賞した水中写真家・鍵井靖章さんの作品で、阪急・能勢電鉄川西能勢口駅周辺を装飾。市の新しい名所を作り出します。</p> | 1億2,505万円 |
| 繋げよう | <p>■市民モルック大会</p> <p>市内全域で予選会を開催。決勝はモルックの聖地と呼ばれる「満願寺」で実施します。</p>  | 140万円     |
| 伝えよう | <p>■市民事業企画のスタートアップ支援（住民提案型事業）</p> <p>市民団体・事業者企画のスタートアップ応援やコンテストを行います。</p> <p>■周年事業の広報</p> <p>市内飲食店や小売店などの情報をウェブサイトに掲載します。また、川西能勢口駅や能勢電鉄各駅で、周年事業の広告を展開します。</p>  | 841万円     |

全取り組みで 約1億1,072万円の財源確保

## 持続可能な行政運営のために 事業を見直します

限られた財源で持続可能な行政運営を行うには、絶えず事業の見直しを行い、事業や業務を新しいものへ変えることが必要です。

市では、これまででも事業や補助金の見直しなどに取り組み、新たなサービスを行うための財源を確保。市民サービスに還元してきました。

今後も、社会情勢や市民のニーズの変化に応じた有効性の高いサービスを提供し続けます。

ここでは、事業の見直しなどの主な取り組みと令和6年度予算への影響額の一部を紹介。

その他の取り組み内容など詳しくは、4ページの2次元コードから確認することができます。

- 働き方改革への取り組み**

業務の効率化を図り、勤務時間の適正化を徹底。時間外手当の削減につなげます。

3,123万円 支出減
- 自転車などの駐輪場の運営方法の見直し**

4月1日から、民間事業者が運営する有料駐輪場へと見直しを行います。

1,346万円 収入増
- 公園などの維持管理の見直し**

ごみは利用者を持ち帰ってもらい、ごみ箱を撤去することで、ごみ収集の経費を削減します。

1,637万円 支出減

問い合わせ 行革推進課 ☎072(740)1402